

令和元年 5 月 8 日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

令和元年度あいち文化遺産保存活用推進事業

伝統文化出張講座を開催します

愛知県教育委員会では、平成19年度から子供たちが地域に伝わる民俗芸能（無形民俗文化財等）の奥深さを理解し、郷土を愛する気持ちを高めるために民俗芸能保存団体と交流できる環境を整える事業を実施しています。平成23年度からは鑑賞にとどまらず、体験・練習及び発表を組み合わせた「伝統文化出張講座」として、より充実した内容で実施しています。

今回、下記のとおり牛久保小学校において伝統文化出張講座が開催されますので、お知らせします。

記

1 趣旨

民俗芸能の保存・伝承においては、地域の人々の理解と認識を深めることが不可欠であるとともに、後継者不足が喫緊の課題です。

後継者育成には、まず、子供たちが地域に伝わる民俗芸能の奥深さを理解し、郷土を愛する気持ちを高めることが求められます。このため、民俗芸能保存団体と交流できる環境を整備し、鑑賞にとどまらず、体験・練習及び発表という継続的な伝承活動を支援します。

2 主催

愛知県教育委員会

3 事業概要

地域の民俗芸能保存団体を小・中学校に招き、民俗芸能を紹介・披露してもらいます。また、民俗芸能を小・中学校の児童・生徒に体験・練習及び発表等をさせることにより、地域の民俗芸能の担い手を育てます。

4 講座内容

八幡社氏子の方々が牛久保小学校 5 年生の児童に牛久保の若葉祭（県指定無形民俗文化財）の芸能の説明・稽古を行い、最終日にその成果を発表します。

講座日時

第 1 回	11 月 5 日（火）	団体の紹介・芸能の説明・稽古	午後 4 時から 1 時間ほど
第 2 回	11 月 12 日（火）	稽古	午後 4 時から 1 時間ほど
第 3 回	11 月 16 日（土）	発表会	午前 9 時から 30 分ほど

会 場 豊川市立牛久保小学校（0533-86-7288）

講 師 八幡社氏子（約 10 名）

参加児童 豊川市立牛久保小学校 5 年生児童（51 名）



【お問合せ先】

豊川市教育委員会 生涯学習課 文化財係 岡田・細井
TEL:0533-88-8035 Eメール:gakushu@city.toyokawa.lg.jp

愛知県教育委員会 生涯学習課 文化財保護室 保護グループ
丸山・糟屋・永尾
TEL:052-954-6783 Eメール:syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp



教育は
未来へつなぐ
希望の輪

令和元年5月8日(水)
愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室
保護・普及グループ
担 当 丸山・糟屋・永尾
内 線 3963 ・ 3964
ダイヤルイン 052-954-6783

令和元年度あいち文化遺産保存活用推進事業

伝統文化出張講座を開催します

愛知県教育委員会では、平成19年度から子供たちが地域に伝わる民俗芸能（無形民俗文化財等）の奥深さを理解し、郷土を愛する気持ちを高めるために民俗芸能保存団体と交流できる環境を整える事業を実施しています。平成23年度からは鑑賞にとどまらず、体験・練習及び発表を組み合わせた「伝統文化出張講座」として、より充実した内容で実施しています。

この度、今年度の実施校及び参加団体が決定しましたので下記のとおりお知らせします。

記

1 趣旨

民俗芸能の保存・伝承においては、地域の人々の理解と認識を深めることが不可欠であるとともに、後継者不足が喫緊の課題です。

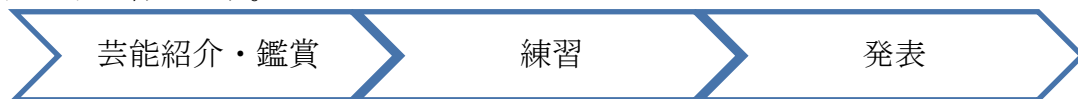
後継者育成には、まず、子供たちが地域に伝わる民俗芸能の奥深さを理解し、郷土を愛する気持ちを高めることが求められます。このため、民俗芸能保存団体と交流できる環境を整備し、鑑賞にとどまらず、体験・練習及び発表という継続的な伝承活動を支援します。

2 主催

愛知県教育委員会

3 事業概要

地域の民俗芸能保存団体を小・中学校に招き、民俗芸能を紹介・披露してもらいます。また、民俗芸能を小・中学校の児童・生徒に体験・練習及び発表等をさせることにより、地域の民俗芸能の担い手を育てます。



4 実施校・保存団体及び実施予定日

	実施校	民俗芸能等の名称 (保存団体)	実施予定日	参加 児童・生徒
1	岡崎市立 むつみなんぶ 六ツ美南部小学校	だいじょうさい ゆきさいでん 大嘗祭悠紀斎田 (六ツ美悠紀斎田保存会)	令和元年 5月14日(火) 令和元年 5月22日(水) 令和元年 6月2日(日)	6年生 3クラス 115名
2	豊田市立 しごう 四郷小学校	ぼうて 棒の手 (四郷地区棒の手保存会)	令和元年 6月26日(水) 令和元年 9月12日(木) 令和元年 11月28日(木)	4年生 2クラス 59名
3	岡崎市立 やまなか 山中小学校	でんでんがっさり デンデンガッサリ (山中八幡宮デンデンガッサリ保存会)	令和元年 7月5日(金) 令和元年 9月20日(金) 令和元年 12月12日(木)	5年生 1クラス 36名

	実施校	名称（保存団体）	実施予定日	参加 児童・生徒
4	豊川市立 うしくぼ 牛久保小学校	うしくぼ わかばさい 牛久保の若葉祭 (宗教法人八幡社)	令和元年11月5日(火) 令和元年11月12日(火) 令和元年11月16日(土)	5年生 2クラス 51名
5	豊橋市立 とうぶ 東部中学校	わだこづく 和風作り (豊橋風保存会)	令和元年9月24日(火) 令和元年10月1日(火) 令和元年10月15日(火)	1年生 1クラス 20名

※実施予定日は変更する場合があります。取材される場合は、事前に愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室（052-954-6783）まで御連絡ください。

令和元年度実施民俗芸能の紹介

<small>だいじょうさい ゆ き さいでん</small> 大嘗祭悠紀齋田（所在地 岡崎市）		保存団体 六ツ美悠紀齋田保存会
<p>【概要】 大正4年、大正天皇即位の大嘗祭にあたり、儀式に用いる新米を収穫するための齋田が選定されました。京都より東日本を悠紀、西日本を主基とし、悠紀齋田に六ツ美村が選ばれ、その際に行われた「お田植え唄」「お田植え踊り」及び装束・用具・記録が保存伝承されています。 毎年6月の第一日曜日に、齋田会場において「六ツ美悠紀齋田お田植えまつり」としてお田植えが再現され、多くの方々が参加しています。 昭和41年に、唄・踊り・装束・用具等が「大嘗祭悠紀齋田」として、岡崎市の無形民俗文化財に指定されました。</p>		
<small>ぼう て</small> 棒の手（所在地 豊田市）		保存団体 四郷地区棒の手保存会
<p>【概要】 棒の手は、棒や刀、なぎなた等を使った武術的な民俗芸能です。もともとは、戦国時代に農民が自分の身を守るために武術を身に付けたことが始まりとされており、次第に祭礼芸能へと変化していきました。 四郷地区棒の手保存会は、5地区3流派（天道自治区及び上原自治区の鎌田流、下古屋自治区の藤牧検藤流、井上自治区及び高町自治区の見当流）あり、多くの子供が棒の手を体験しています。また、海外でも棒の手を披露しています。 昭和33年に、愛知県の無形民俗文化財に指定されました。</p>		

【概要】

デンデンガッサリは、山中八幡宮に古くから伝わるお田植え神事です。歌詞のはじめに「デンデンガッサリヤー」という詞があることから、「デンデンガッサリ」といわれています。

前歌・後歌・せりふ・所作により、年間の農作業を表現しています。天候の恵みと稲の豊作を表す大鏡餅を牛の背にのせ、牛が重さに耐えきれず倒れる所作が特徴的です。牛が「運搬」「豊作」の象徴として登場してくることが極めて珍しく、貴重なものです。

昭和47年に、岡崎市の無形民俗文化財に指定されました。



【概要】

若葉祭は豊川市牛久保町の氏神である牛久保八幡社の例祭で、祭りには地元の氏子4組(上若組、西若組、神児組、^{みこ}笹若組)が参加します。

各組の象徴である「ダシ」(馬簾^{ばれん})をはじめ、大山車や囃子車、神児車、笹踊りが勢揃いします。若葉祭は「うなごうじ祭り」とも呼ばれ、笹踊りの囃子方「ヤンヨウガミ」がところかまわず寝転ぶ姿がうじ虫に似ていることから、そのように呼ばれる所以とも言われています。また、大山車ではかくれ太鼓が行われます。

平成21年に、愛知県の無形民俗文化財に指定されました。



【概要】

豊橋(旧吉田藩)には、江戸時代中頃より伝わる伝統凧のケロリ凧とハツ花凧があります。

この凧で藩主が隣の浜松藩と凧合戦を家来に命じたという記録が残っています。また、長男が生まれると、健やかな成長を願って祝い凧をケロリやハツ花で祝う風習もありました。しかし、時代とともに祝い凧の風習もなくなり、子供の遊びにも変化が見られ、凧は忘れ去られようとしていました。

そんな中、昭和45年に保存会が結成され、子供たちに凧の楽しさを伝えるため、凧揚げ大会や凧教室、凧の展示会等を開催しています。

